6　加点に関する事項・選考に当たって考慮する事項

1　加点に関する事項

申請により、第１次試験の教科専門試験等（100点満点）に次のとおり加点をする。

なお、申請をする場合は、電子申請の「加点申請」欄に加え、必ず次の欄にも入力すること。

・英語の資格による加点の場合：「英語の資格」欄

・情報の資格又はその他の資格による加点の場合：「特技・資格」欄

また、実施団体が発行する資格証明書又は資格を証明できる書類を、電子データ[**PDF形式**]に変換したものを電子申請上で添付すること。

(1)　英語又は情報の資格による加点

種別	条件		加点	校種・職種等				
				小	中	高	特	養
英語の資格	各資格・検定において＜表１＞の基準を満たす者		10点	○	○ 英語	○ 英語		
情報の資格	独立行政法人情報処理推進機構が実施する右の情報処理技術者試験に、平成21年度以降に合格した者	ITパスポート	５点	○	○	○	○	
		基本情報技術者	10点	○	○	○	○	
		応用情報技術者	10点	○	○	○	○	

※(1)の中で、複数の資格を有している場合も重複申請はできない。

(2)　その他の資格による加点

種別	条件	加点	校種・職種等				
			小	中	高	特	養
その他の資格	視能訓練士、手話通訳士、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士のいずれかの資格を有する者	10点				○	

2　選考に当たって考慮する事項

考慮する事項	校種・職種等				
	小	中	高	特	養
(1)　部活動・ボランティア活動・ＪＩＣＡ（独立行政法人国際協力機構）が実施するＪＩＣＡボランティア事業に参加する等の幅広い経験を有していること	○	○	○	○	○
(2)　学校図書館司書教諭の資格を所有していること	○	○	○	○	○
(3)　特別支援学校教諭普通免許状を所有していること	○	○	○		○
(4)　社会教育主事になり得る資格を所有していること	○	○	○	○	○
(5)　中学校教諭普通免許状（英語・数学・理科）又は高等学校教諭普通免許状（英語・数学・理科）を所有していること	○				
(6)　いずれかの教科（英語・数学・理科を除く。）の中学校教諭普通免許状を所有していること	○				
(7)　各資格・検定において＜表１＞に示す基準のいずれかを満たしていること **※ 該当する場合は、必ず電子申請の「英語の資格」欄に入力すること**	○		○ 数学 理科		
(8)　小学校教諭普通免許状を所有していること		○			
(9)　複数教科の中学校教諭普通免許状を所有していること		○			
(10)　高等学校教諭普通免許状（情報）を所有していること			○		
(11)　剣道４段以上の段位又は柔道３段以上の段位を所有していること **※ 該当する場合は、必ず電子申請の「特技・資格」欄に入力すること**		○ 保健体育	○ 保健体育		
(12)　いずれかの教科の高等学校教諭普通免許状を所有していること				○	
(13)　同一の民間企業、官公庁等（教職以外）で、正規職員として２年以上継続勤務しており、出願時も勤務していること	○	○		○	

※　教諭普通免許状及び社会教育主事になり得る資格については、令和９年３月31日までに取得見込みのもの、学校図書館司書教諭の資格については、令和９年３月31日までに必要単位を取得の上、交付申請完了見込みのものを含む。

＜表１＞

対象		ケンブリッジ英語検定	実用英語技能検定	ＧＴＥＣ	ＩＥＬＴＳ	ＴＥＡＰ	ＴＥＡＰ ＣＢＴ	ＴＯＥＦＬ ｉＢＴ	TOEICBridge L&R/S&W	ＴＯＥＩＣ L&R/S&W
出願要件	特別選考Ａ①	180以上	１級	1350以上	7.0以上	375以上	800	95以上	－	1845以上
加点	英語の資格による加点	160以上	準１級以上	1190以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	－	1560以上
選考に当たって考慮する事項	小学校教諭等	140以上	２級以上	960以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	170以上	1150以上
	高等学校教諭等（数学・理科）	160以上	準１級以上	1190以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	－	1560以上

※ TOEIC L&R/S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで基準を満たすこと。また、公開テストによるスコアのみを対象とする。

※ 有効期限がある認定書等は出願の時点で有効であること。有効期限が過ぎたものは不可とする。